

# 酒とパソコンと少々のミルク

## 紙のお雛様

成光 昭男

今回は6次産業化についてお話ししましょう。

6次産業とは、農業などの第1次産業が食品加工(2次産業)や流通販売(3次産業)にも業務展開している経営形態を指します。各産業の次数を掛け、「 $1 \times 2 \times 3 = 6$ 」となることから、このように呼ばれています。

みやざき6次産業化サポートセンター(宮崎県農業振興公社)は、6次産業化相談員(5名)を設置し、県内の農業改良普及センターと連携して、毎月1回(水曜日)、「6次産業化地域相談会」を開催し、地域に密着した6次産業化の相談対応を行っています。

毎月	普及センター	電話番号
第1水曜日	中部	0985-30-6121
第2水曜日	南那珂	0987-21-9550
第1水曜日	西諸県	0984-23-3165
第2水曜日	北諸県	0986-38-1554
第1水曜日	児湯	0983-43-2311
第4水曜日	東臼杵南部	0982-68-3100
第2水曜日	東臼杵北部	0982-32-3216
第4水曜日	西臼杵	0982-72-2158

相談は個別面談により行うことになっており、予約制となっています。相談希望の方は事前に各普及センターに連絡してください。

私も6次産業化相談員のひとりとして、西諸県、北諸県地域を担当しています。

相談会では、「牛乳を加工して販売したいけれど」、「商品開発はどのように行えばよいの?」、「販売先はどのように開拓するの?」、「補助金や融資制度が利用できるの?」などの疑問にお答えします。6次産業化について知りたい酪農家の皆様の参加をお待ちしています。

相談の結果、具体的に6次産業化に取り組むことを希望されれば、15名の6次産業化サポーターによる、総合化事業計画<sup>※1</sup>の認定に向けた

ブラッシュアップや認定後のフォローアップについて、全般的な支援、食品加工や販売戦略、デザインなどの専門的なアドバイス、農業生産技術や、農業経営などの農業専門のアドバイスを受けることができます。

6次産業化では、地域でいきいきと活躍している女性ならではの視点や発想が活かされることが期待されています。

しかし、相談会に来られる方の多くは男性で、女性の割合はまだまだ少ないですね。是非、酪農女性の皆様の参加をお待ちしています。

そう言えば、3月3日はひな祭りでした。娘が3人の我が家でも毎年、お雛様が飾られます。このお雛様は長女が生まれた時に祖母の友人から頂いたもので、もう30年以上になります。

このお雛様は、すべて紙製の手作りのもので、素朴なものです。顔はもともと無地だったのですが、どの子の仕業か解りませんが、三人官女にはサインペンで目が入れています。これがまた愛着を生みます。

このお雛様に見守られ、3人娘はすこやかに成長できたようです。



※1 農林漁業者等が農林水産物等の生産及びその加工又は販売を一体的に行う事業活動のことを「総合化事業」と呼んでいます。そして、その事業活動の計画が「総合化事業計画」です。「総合化事業計画」が国により認定された農林漁業者には、融資や補助金等の支援対策が用意されています。